

町 長	副町長	院 長	副院長	事務長	次 長	担 当	合 議
							施設整備室長

別記様式第 4 号

会議等結果報告書									
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文 書 番 号	上富病院第 443 号						
		決 裁 期 日	令和 6 年 2 月 20 日						
名 称	令和 5 年度第 3 回上富良野町立病院運営審議会								
日 時	令和 6 年 2 月 19 日(月)18:25～19:20								
場 所	役場庁舎 2 階審議室								
出席者	【委 員】北川委員長、鎌田副委員長、菊地委員、中田委員、大道委員 【事務局】長岡事務長、上嶋次長、長谷川室長、船引主査								
内 容	○町長挨拶 （略） ○審議会委員長あいさつ（略） 協議事項 1. 令和 5 年度病院事業会計収支決算見込みについて 資料 1 (1)患者数見込み ・ 一般病棟入院患者数 6,853 人(前年対比+305 人) ・ 介護医療院入所者数 9,370 人(前年対比▲374 人) ・ 外来患者数 20,976 人(前年対比▲51 人) (2)決算見込み ・ 病院事業収益 835,569 千円 ・ 病院事業費用 1,002,633 千円 ・ 当期純利益 ▲167,064 千円								
	<table><tr><td>前年度繰越欠損金</td><td>1,210,771 千円</td></tr><tr><td>当期純利益</td><td>▲ 167,064 千円</td></tr><tr><td>当年度未処理欠損金</td><td>1,377,835 千円</td></tr></table>			前年度繰越欠損金	1,210,771 千円	当期純利益	▲ 167,064 千円	当年度未処理欠損金	1,377,835 千円
	前年度繰越欠損金	1,210,771 千円							
	当期純利益	▲ 167,064 千円							
	当年度未処理欠損金	1,377,835 千円							
※その他収支、費用各項目の主な増減要因について説明									
2. 令和 6 年度病院事業会計予算案について 資料 2 (1)患者数算定 ・ 一般病棟入院患者数 9,100 人(前年対比▲400 人) ・ 介護医療院入所者数 10,650 人(前年対比 0) ・ 外来患者数 24,500 人(前年対比▲700 人) (2)病院事業全体の予算 ・ 収益的収支予算(3 条) 1,013,702 千円(前年当初対比 11,785 千円)									
収益 医業収益 585,682 千円、医業外収益 270,932 千円、介護保険施設収益 157,088 千円 費用 医業費用 845,871 千円、医業外費用 10,732 千円、介護保険施設費用 157,088 千円他									

内 容	・ 資本的収支予算（４条） 4,591,785 千円（前年当初対比 3,546,304 千円） 収入 出資金 159,211 千円、補助金 578,874 千円、企業債 2,853,700 千円 費用 企業債償還金 7,308 千円、建設改良費 4,582,077 千円、奨学金貸付 2,400 千円 3. 病院改築整備事業について 資料 3 ・ 病院改築整備事業工事代金の変更について 急激な価格変動に伴い契約条項のスライド条項適用により両社協議の結果 609,361 千円増額の 4,569,361,500 円で請負契約の変更を行い、議会への諸手続きを完了している。 ・ ６年度の改築整備事業概要について ６年度が建設工事のメインであり、本工事で 34 億 6 千万円、地中熱工事で 7 億 1,900 万円、医療器械・什器備品等の購入で 3 億 1100 万円ほか、合計で 45 億 8,200 万円の事業費を予定している。 ６年 8 月には建屋建設が概ね終了し、以降設備工事、内装工事等を予定し、7 年 2 月の竣工、以降新病院への移転となる見込み ○質疑・意見等 ・ 介護医療院の現在の入所数と見込数の要因、新病院後の入所者数等について 【A】現在多くて 27～28、R 5 の見込みとしては、医師の長期不在や介護士不足から 1 日平均 25.6 人と見込んでいる。新病院移転後に合わせて入所定員数を 40 床にするため、介護士の複数補充を予定し、確保するために今から動きたい。 ・ 当期純利益の損失が昨年と比較して倍以上である見込について 【A】資本的予算（４条）における改築整備事業の費用で支払った消費税分 9,399 万円が含まれているため純利益のマイナスが大きくなっている。 ・ 改築整備事業費の増加は、６年度も見込まれるのか 【A】現在の社会情勢を踏まえると労務単価の上昇、その他資材価格の上昇も見込まれ、その際は今年度同様原契約を元に両社協議により対応していく。 ・ 奨学金貸付金の増加について 【A】５年度途中よりさらに 1 名の看護師奨学金（月額 10 万円）の貸付を決定している。 これで看護師 2 名となり R 7 から当院で勤務いただくことになる。 奨学貸付制度は、看護師のみならず薬剤師や理学療法士や放射線技師などの医療技術職員も対象としている。 以上
------------	---